



ACG Eyes : 映像とドローイング-narrative-

ARTCOURT Gallery

Contemporary art and Design

OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

ACG Eyes: 映像とドローイング — narrative — 開催のお知らせ



アートコートギャラリーでは、企画展との同時開催として、当ギャラリーの所蔵および取扱作家の作品による常設展示を企画・開催しています。この度、その総称を“ACG eyes”と改め、若手作家による新作発表を中心に、各回ごとにテーマ性をもつ充実したグループ展としてシリーズ化する運びとなりました。

“ACG eyes” 第一弾となる今回は、金澤麻由子、西山裕希子、牡丹靖佳など、鑑賞者との間に物語を生み出す可能性＝物語性に富んだ繊細な世界観を表現する作家たちの作品を <映像とドローイング narrative> というテーマでご紹介します。

作品と向き合うとき、それを形づくるイメージや色、形態、音などの知覚的要素（五感によって知覚できる要素）は、私たちの内部にある様々な事象、たとえば夢の記憶や心の奥底にある名づけようのないイメージとつながり、そして私たちの意識と作品との間を行き来しながら、ある「流れ」をつくり出します。それは作品の背景にある理論や概念にとどまらず、あるいはその隙間から溢れ出し、鑑賞者との親密な相互関係によって紡ぎ出される物語＝narrativeだと言えるでしょう。

映像とドローイングという二つのメディアは、時間軸や即興性といった「流れ」の要素を多く含んでいますが、それに身を委ねることで私たちと作品との間にはどのような物語が生まれるのでしょうか。

写真左：西山裕希子「seeing with blind eyes」2005（部分）／写真右：牡丹靖佳「duwasa」（部分）

◆展覧会概要

タイトル：ACG Eyes: 映像とドローイング — narrative —

会場：アートコートギャラリー 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

会期：2008年11月18日(火)～12月26日(金) [日・月・祝休] ※12月18日以降、一部展示替えあり

開館時間：11:00～19:00(土曜日～17:00)

企画：アートコートギャラリー(有限会社 八木アートマネジメント)

◎出展作家

金澤麻由子、西山裕希子、牡丹靖佳、水田 寛、Poh Wang 他

◆同時開催

企画展：アニアス・ワイルダー展「Collider」 2008年11月18日(火)～12月13日(土) [日・月・祝休]

※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

お問い合わせ：アートコートギャラリー (八木・清澤) 〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F
E-mail:info@artcourtgallery.com URL:www.artcourtgallery.com TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449